



# 今西自然学と環世界学の関連について

On the relation of Imanishi's "renatured science" (*shizengaku* 自然学) with mesology

2015年 10月29日(木) 15:00 - 17:00

今西錦司の提唱した自然学は今、多くの学者から無視され、場合によって村八部されてきたときとも言える。今西は確かに、その自然学を合理的な方法論として構築しなかったわけて、それを“行為的直観の生態学”の状態に残したと言える。しかし、問題はそこにとどまらない。自然学は、今西自身がそれを明らかにしなかったが、環世界学 (*mésologie*) と基本的な類似性を持っている。そういう意味で、自然学が、古典近代科学の本質的な限界を乗り越える可能性を潜めている。古典近代科学の本質的な限界とは、対象と人間存在との具体的なかわりを抽象・外閉したので、しまいにはこの地球上の人間存在の可能性そのものも外閉・消滅する危険性を本質的に帯びているということである。我々は今、古典近代科学の世界観を前提にした現代文明のそういう構造的な危機を乗り越えるために、人間存在と自然との関係を断った科学ではなく、ハイゼンベルクが科学の王者である物理学そのものの方法を以て明らかにしたように、その関係こそを対象にした科学、いいかえれば和辻哲郎の定義した人間存在の構造契機としての風土性・環世界性 (*médiance*) を認めた学として、古典近代自然科学の限界を超越した環世界学としての自然学を必要としている。

Abstract - Though Imanishi did not refer to Uexküll nor to Watsuji, what he eventually came to call "renatured science" (*shizengaku* 自然学) - as distinct from the natural sciences - shares with the former's Umweltlehre and the latter's *fudoron* a common crucial principle; that is, to pose first the selfhood of the concerned living being, which for that reason is endowed with a certain capacity of choice, and thus cannot be reduced to a mere mechanism determined by the general environment. Correlatively, though Imanishi did not refer to Watsuji's ontological concept of *fudosei*, defined as the structural moment of human existence, he expressed a similar idea with his formula "environmentalization of the subject, subjectivation of the environment". In other words, as does mesology, and as Heisenberg put it for physics itself, renatured science amounts to making the relation between observation and reality the very object of science, instead of considering nature as a mere object.



● 報告者 オギュスタン・ベルク ●

(欧州学士院員、社会科学高等研究院)

オギュスタン・ベルク、1942年モロッコ生まれ。フランス国立社会科学高等研究院教授、環世界学と風土論専攻。欧州学士院員、福岡アジア文化賞大賞受賞 (欧米人として初)。著書に『風土の日本』(ちくま学芸文庫)、『風景という知』(世界思想社)等。

Augustin Berque, born in 1942, Rabat, Morocco, is a French geographer, Orientalist and philosopher. He is a professor at the École des hautes études en sciences sociales in Paris (EHESS). His specialist field of interest is Japan. Berque has developed an extensive array of concepts in order to grasp the complex nature of relations between natural and physical objects and the way we conceive of nature.

● 会場 総合地球環境学研究所・講演室 ●

● 申込不要・入場無料 / 使用言語 日本語 ●



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構  
総合地球環境学研究所  
Research Institute for Humanity and Nature

〒603-8047 京都市北区上賀茂本山 457 番地 4

- 地下鉄烏丸線  
京都駅 → (20分) → 国際会館駅  
→ 京都バス 40系統「京都産業大学ゆき」または  
50系統「市原ゆき」または  
52系統「市原経由貴船口・鞍馬・鞍馬温泉ゆき」  
→ (6分) → 地球研前 バス停下車すぐ
- 京阪沿線  
出町柳駅 → 叡山電車鞍馬線 (17分) → 京都精華大前駅  
→ (徒歩10分) → 地球研

■ マイカーでのご来場は固くお断りいたします。  
公共交通機関をご利用ください。

